



2026年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月8日

上場会社名 トラストホールディングス株式会社 上場取引所 東 福
 コード番号 3286 URL <https://www.trust-hd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山川 修
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 佐々木 貴史 TEL 092-437-8944
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第3四半期の連結業績（2025年7月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	7,346	△17.3	△60	—	△135	—	△102	—
2025年6月期第3四半期	8,878	△5.7	216	△48.8	147	△60.0	56	△73.2

(注) 包括利益 2026年6月期第3四半期 △99百万円 (—%) 2025年6月期第3四半期 54百万円 (△74.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第3四半期	△26.58	—
2025年6月期第3四半期	14.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第3四半期	10,515	1,060	10.1
2025年6月期	8,730	1,217	13.9

(参考) 自己資本 2026年6月期第3四半期 1,060百万円 2025年6月期 1,217百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	8.00	—	11.00	19.00
2026年6月期	—	9.00	—	—	—
2026年6月期（予想）	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年6月期の連結業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,900	△15.0	△470	—	△580	—	△690	—	△180.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2026年5月8日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年6月期3Q	5,204,500株	2025年6月期	5,204,500株
② 期末自己株式数	2026年6月期3Q	1,337,456株	2025年6月期	1,371,954株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年6月期3Q	3,849,976株	2025年6月期3Q	3,816,272株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(収益認識関係)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などにより緩やかな回復基調が続いたものの、米国の通商政策や中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の高騰等により物価が上昇し、その影響が家計や企業活動に波及し、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、駐車場事業の収益力向上、不動産事業における新築マンションの販売強化及び駐車場等小口化事業における「トラストパートナーズ」の販売拡大の他、各種事業の収益改善等に注力してまいりました。

以上の結果、売上高7,346,821千円（前年同期比17.3%減）、営業損失60,407千円（前年同期は216,117千円の営業利益）、経常損失135,135千円（前年同期は147,426千円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は102,365千円（前年同期は56,054千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

①駐車場事業

駐車場事業につきましては、新規駐車場の開発に注力した結果、当第3四半期連結累計期間において駐車場数は113ヶ所、車室数は2,963車室を開発し、引き続き既存駐車場の収益率改善等に注力いたしました。

以上の結果、売上高5,274,086千円（前年同期比1.5%減）、営業利益205,154千円（同6.8%減）となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末の駐車場数は985ヶ所（前年同期より83ヶ所増、前連結会計年度末より57ヶ所増）、車室数は32,151車室（前年同期より2,794車室増、前連結会計年度末より1,980車室増）となっております。

②不動産事業

不動産事業につきましては、当第3四半期連結累計期間において、新築マンションの新規竣工物件はなく、既竣工物件「トラストレジデンス伊万里河畔（佐賀県伊万里市）」、「トラスト博多南駅レジデンス（福岡市南区）」及び仕入れ販売物件「ハレ プアラニ 鴨池（鹿児島県鹿児島市）」等の販売を継続し、14戸の引渡しを実施いたしました。

また、第4四半期連結会計期間に竣工及び引渡し予定の新築マンション「トラストレジデンス城内橋（佐賀県唐津市）」、「トラスト白木原レジデンス（福岡県大野城市）」の販売に注力いたしました。

以上の結果、売上高470,404千円（前年同期比76.0%減）、営業損失280,402千円（前年同期は6,853千円の営業利益）となりました。

③駐車場等小口化事業

不動産特定共同事業法に基づく駐車場小口化商品「トラストパートナーズ」の販売を中心として行う駐車場等小口化事業につきましては、当第3四半期連結累計期間において、「トラストパートナーズ第38号（神奈川県藤沢市、大分県別府市、販売総額155,000千円）」及び「トラストパートナーズ第39号（長崎県長崎市、山口県下関市、広島県呉市及び尾道市、販売総額147,000千円）」を組成、完売いたしました。

また、既存商品の譲渡手数料収入が堅調に推移し、第4四半期連結会計期間に販売、組成を予定している駐車場小口化商品の商品化準備にも注力いたしました。

以上の結果、売上高367,244千円（前年同期比21.1%増）、営業利益18,654千円（同42.3%増）となりました。

④メディカルサービス事業

メディカルサービス事業につきましては、「介護老人保健施設みやこ」、「福岡信和病院」及び「嘉徳信和病院」等の賃貸による収入が堅調に推移しております。また、各医療法人へのコンサル業務の強化、サービス付き高齢者向け住宅の運営強化等に取り組みました。

以上の結果、売上高194,772千円（前年同期比6.7%減）、営業損失13,991千円（前年同期は35,162千円の営業損失）となりました。

⑤RV事業

RV事業につきましては、キャンピングカーの製造、販売、修理・リノベーション等に注力し、キャンピングカーショー等のイベントへ積極的に出展するなど、販路拡大による受注獲得に取り組みました。

以上の結果、売上高250,326千円（前年同期比16.6%減）、営業損失35,249千円（前年同期は1,978千円の営業利益）となりました。

⑥その他

温浴事業につきましては、「那珂川清滝（福岡県那珂川市）」及び「和楽の湯下関せりゅう（山口県下関市）」両施設において、サウナ設備のリニューアル等を実施し、新規来館者の獲得並びにリピーターの確保に注力いたしました。

また、警備事業につきましては、商業施設等の常駐警備契約の獲得に積極的に取り組むとともに、更なる契約獲得と信頼性の高い警備の提供のため、警備員への教育、指導及び人員確保にも注力いたしました。

以上の結果、売上高789,987千円（前年同期比4.6%増）、営業利益14,559千円（前年同期は2,734千円の営業損失）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比較して1,551,017千円増加し、7,222,524千円となりました。主な増加要因は仕掛販売用不動産の増加1,260,354千円、営業貸付金の増加228,596千円、販売用不動産の増加128,455千円であります。一方、主な減少要因は、現金及び預金の減少218,829千円であります。固定資産は前連結会計年度末と比較して233,215千円増加し、3,292,662千円となりました。主な増加要因は、有形固定資産のその他に含まれるリース資産の増加86,262千円、土地の増加52,206千円であります。

以上の結果、総資産は10,515,187千円となり、前連結会計年度末に比べ、1,784,232千円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比較して2,398,131千円増加し、6,692,958千円となりました。主な増加要因は、短期借入金の増加1,879,135千円、1年内返済予定の長期借入金の増加1,277,617千円であります。一方、主な減少要因は、買掛金の減少568,904千円、1年内償還予定の社債の減少300,000千円であります。固定負債は、前連結会計年度末と比較して456,829千円減少し、2,761,442千円となりました。主な減少要因は、長期借入金の減少526,608千円であります。一方、主な増加要因は、リース債務の増加69,272千円であります。

以上の結果、負債合計は9,454,400千円となり、前連結会計年度末に比べ、1,941,302千円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して157,069千円減少し、1,060,786千円となりました。主な減少要因は、剰余金の配当による利益剰余金の減少82,796千円、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少102,365千円であります。

以上の結果、自己資本比率は10.1%（前連結会計年度末は13.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期の通期連結業績予想につきましては、2025年8月8日に公表した連結業績予想を修正しております。詳細は、2026年5月8日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおりです。なお、業績予想につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合がございます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,738,317	1,519,488
受取手形及び売掛金	247,725	303,603
販売用不動産	823,691	952,147
仕掛販売用不動産	1,550,832	2,811,187
商品及び製品	39,413	42,519
仕掛品	47,484	67,818
原材料及び貯蔵品	90,380	141,137
営業貸付金	824,947	1,053,543
その他	602,357	624,935
貸倒引当金	△293,642	△293,856
流動資産合計	5,671,507	7,222,524
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	957,304	957,013
土地	738,302	790,509
その他（純額）	555,850	700,729
有形固定資産合計	2,251,457	2,448,251
無形固定資産	26,205	16,235
投資その他の資産	781,783	828,174
固定資産合計	3,059,446	3,292,662
資産合計	8,730,954	10,515,187

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	745,256	176,351
短期借入金	1,499,000	3,378,135
1年内償還予定の社債	300,000	—
1年内返済予定の長期借入金	836,735	2,114,352
リース債務	132,355	157,239
未払法人税等	60,927	26,018
資産除去債務	—	9,300
契約負債	130,805	252,507
株主優待引当金	29,190	—
賞与引当金	—	50,245
その他	560,556	528,808
流動負債合計	4,294,826	6,692,958
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	2,259,053	1,732,445
リース債務	291,363	360,636
退職給付に係る負債	119,047	119,733
株式給付引当金	28,786	27,210
資産除去債務	217,124	218,010
その他	202,896	203,406
固定負債合計	3,218,271	2,761,442
負債合計	7,513,098	9,454,400
純資産の部		
株主資本		
資本金	422,996	422,996
資本剰余金	220,914	233,456
利益剰余金	1,096,784	911,622
自己株式	△521,213	△508,272
株主資本合計	1,219,481	1,059,803
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,625	982
その他の包括利益累計額合計	△1,625	982
純資産合計	1,217,855	1,060,786
負債純資産合計	8,730,954	10,515,187

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
売上高	8,878,919	7,346,821
売上原価	7,127,697	5,922,227
売上総利益	1,751,222	1,424,593
販売費及び一般管理費	1,535,104	1,485,000
営業利益又は営業損失(△)	216,117	△60,407
営業外収益		
受取利息	2,131	3,898
受取配当金	1,382	3,251
受取保険金	2,590	11,007
投資有価証券売却益	1,512	696
その他	25,294	16,675
営業外収益合計	32,911	35,530
営業外費用		
支払利息	69,540	97,441
その他	32,060	12,816
営業外費用合計	101,601	110,257
経常利益又は経常損失(△)	147,426	△135,135
特別損失		
減損損失	805	5,665
特別損失合計	805	5,665
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	146,621	△140,801
法人税、住民税及び事業税	55,636	22,723
法人税等調整額	34,930	△61,159
法人税等合計	90,566	△38,435
四半期純利益又は四半期純損失(△)	56,054	△102,365
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	56,054	△102,365

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	56,054	△102,365
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,803	2,608
その他の包括利益合計	△1,803	2,608
四半期包括利益	54,251	△99,756
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	54,251	△99,756

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	駐車場事業	不動産事業	駐車場等 小口化事業	メディカル サービス事業	R V事業	計
売上高						
顧客との契約から生じる収益	5,354,041	1,952,871	44,754	42,652	300,002	7,694,321
その他の収益 (注) 4	—	4,347	258,518	166,163	—	429,030
外部顧客への売上高	5,354,041	1,957,218	303,273	208,815	300,002	8,123,351
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,543	17,370	18,298	—	—	37,211
計	5,355,584	1,974,588	321,571	208,815	300,002	8,160,563
セグメント利益又は損失(△)	220,032	6,853	13,105	△35,162	1,978	206,806

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
顧客との契約から生じる収益	755,567	8,449,888	—	8,449,888
その他の収益 (注) 4	—	429,030	—	429,030
外部顧客への売上高	755,567	8,878,919	—	8,878,919
セグメント間の内部売上高又は振替高	79,084	116,296	△116,296	—
計	834,652	8,995,215	△116,296	8,878,919
セグメント利益又は損失(△)	△2,734	204,072	12,045	216,117

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業、警備事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去388,536千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△375,376千円及び棚卸資産の調整額△1,114千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)運営に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入等及び「特別目的会社を活用した不動産の流動化に係る譲渡人の会計処理に関する実務指針」(企業会計基準委員会 移管指針第10号)の対象となる不動産(不動産信託受益権を含む。)の譲渡等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年7月1日 至 2026年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					
	駐車場事業	不動産事業	駐車場等 小口化事業	メディカル サービス事業	R V事業	計
売上高						
顧客との契約から生じる収益	5,274,086	466,139	47,293	29,876	250,326	6,067,722
その他の収益 (注) 4	0	4,264	319,950	164,895	—	489,111
外部顧客への売上高	5,274,086	470,404	367,244	194,772	250,326	6,556,833
セグメント間の内部売上高又は振替高	362	18,367	18,578	—	—	37,307
計	5,274,448	488,771	385,822	194,772	250,326	6,594,140
セグメント利益又は損失(△)	205,154	△280,402	18,654	△13,991	△35,249	△105,835

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書計上額 (注) 3
売上高				
顧客との契約から生じる収益	789,987	6,857,710	—	6,857,710
その他の収益 (注) 4	—	489,111	—	489,111
外部顧客への売上高	789,987	7,346,821	—	7,346,821
セグメント間の内部売上高又は振替高	84,633	121,940	△121,940	—
計	874,621	7,468,762	△121,940	7,346,821
セグメント利益又は損失(△)	14,559	△91,275	30,868	△60,407

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業、警備事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去393,936千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△362,914千円及び棚卸資産の調整額△154千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)運営に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入等及び「特別目的会社を活用した不動産の流動化に係る譲渡人の会計処理に関する実務指針」(企業会計基準委員会 移管指針第10号)の対象となる不動産(不動産信託受益権を含む。)の譲渡等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	280,339千円	309,507千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）」に記載のとおりであります。